

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人
藤岡市社会福祉協議会

平成29年度事業報告書

社会福祉協議会では、基本理念として掲げた「住みやすく支え合いを実感できるまちづくり」を、住みやすい環境で、地域の人がお互いに支え合い、誰もが生涯輝いて暮らせる地域を目指し活動してきました。地域の中で住民同士のつながりが希薄化していく一方で福祉ニーズも多様化しています。

こうした中、本市においても高齢者単身世帯、高齢者のみの世帯が増加し、介護や日常生活上の支援など家庭の中だけでは解決できない様々な生活課題を抱える世帯が増加しています。また、高齢者世帯だけでなく、子育て家庭や障がいのある人などが抱える生活課題も複雑化、多様化し、課題解決が困難なケースが増加しています。不安を抱える人が孤立することのないよう、そこに住む住民がみんなの問題の解決に向けて考え、ささえあい、助け合いながら自分にできる範囲で活動できる仕組みを広め、また発掘し、「地域の福祉力」を高める活動を、市内8地区において行政及び関係する団体と共に進めてまいりました。

社会福祉協議会は、地域社会福祉活動の推進や在宅福祉サービスの活動をはじめ、藤岡市はもとより関係機関や団体等との緊密な連携を図りながら平成29年度事業計画で定めた重点事業である「法人制度改正に伴う法人運営の在り方」「介護保険事業の運営」「新規事業（生活支援体制整備事業）の運営」「(仮称)ふじおかボランティア・市民活動センターの設置」等に努め以下の事業を実施いたしました。

1. 会員の状況

・普通会員数	19,929世帯	(昨年比)	△260)
・賛助会員数	226世帯	(昨年比)	△8)
・特別賛助会費納入者数	338社	(昨年比)	13)

2. 会議開催状況

・理事会	7回
・評議員会	3回
・監査会	1回
・広報委員会	3回
・生活福祉資金貸付調査委員会	1回

3. 広報活動

年3回発行する「社協だより」と共に、市広報に掲載を依頼して福祉事業のピーアールに努めました。

4. 指導・育成

(1) 役員の研修については会議等を通して資質や知識の向上に努めました。

ボランティアについても資質の向上とグループ間の交流を深めるため、各種講習会、研修会等を開催して、指導、育成に努めました。

(2) ボランティア養成講座を開催して、その育成に努めました。

- ◇手話通訳奉仕者養成講座 53日(入門・基礎) 延べ 393人参加
(修了証:入門13人 基礎講座9人)
- ◇点訳奉仕者養成講座 平日3日間、土曜日3日間(計6日間)
延べ参加者数 29人参加

5. 地域福祉活動 心配ごと相談や結婚相談を定期的で開催して、社会不安の解消や結婚活動の相談等に努めました。

事業名	開催日数	相談件数	紹介件数	成立件数
心配ごと相談事業	49日	138件	—	—
結婚相談事業	36日	223件	5件	0件

6. 寄付等受入

市民の善意に基づく金品の寄付を受けました。

- ◇一般寄付 22件 3,252,604円
- ◇愛の募金 1件 2,212円
- ◇物 品 37件(米、タオル、介護用品、その他日用品)

7. 福祉関係団体助成

福祉関係団体等との連携を図って活動の推進に努めると共に、民児協、連合婦人会、身障連、子ども会育成会、保育部会に助成を行いました。

8. ふれあい型食事サービス事業

見守りが必要な高齢者の方などが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、定期的に地域のボランティアなどが訪問し、安否確認や孤独感の解消を図るとともに、同時に地域住民の福祉活動に対する意識を高め、近隣でのたすけあいの輪が広がるように70歳以上の近隣に子供のいない虚弱な高齢者等へ藤岡地区は月4回、鬼石地区は月2回の食事サービスを行いました。

藤岡地区	44日	延べ配食数	1,895食
鬼石地区	24日	延べ配食数	212食

9. 在宅介護サービス

(1) 介護保険サービ

◇栗 須

- ・居宅介護支援(ケアマネジャー) 245日 延べ 1,766人作成(ケアプラン)
- ・訪問介護(ホームヘルパー) 257日 延べ 3,305回訪問
- ・通所介護(デイサービス) 306日 延べ 4,221人利用

◇鬼石

・通所介護(デイサービス)	254日	延べ	1,980人	利用
(2) 介護保険外サービス				
・在宅介護支援センター(栗須)	365日	延べ	1,169回	相談及び訪問
・在宅介護支援センター(鬼石)	365日	延べ	1,279回	相談及び訪問
・訪問介護(ホームヘルパー)	257日	延べ	379回	訪問
・通所介護(デイサービス)	306日	延べ	330人	通所
・介護タクシー	122日	延べ	319回	稼働

10. 高齢者自立センター事業及び日常生活自立支援事業

◇高齢者自立センター藤岡 介護認定審査の結果、非該当者で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に事業を推進しました。

・デイサービス事業	178日	延利用者数	1,085人
・ホームヘルプ事業	181日	延利用者数	429人
・転倒骨折予防	45日	延利用者数	160人
・転倒骨折予防(短期集中)	19日	延利用者数	66人

◇高齢者自立センター鬼石 介護認定審査の非該当者で介護予防が必要と認められた高齢者を対象に事業を推進しました。

・デイサービス事業	197日	延利用者数	654人
・ホームヘルプ事業	99日	延利用者数	141人
・転倒骨折予防	45日	延利用者数	160人

◇日常生活自立支援事業 主に判断能力が不十分な方が安心して生活できるよう、日常的な金銭管理や、通帳預かり等の支援を行っています。

・相談件数	874件	契約件数	13件(認知7件 知的1件 精神5件)
		利用件数	46件
・登録支援員数	23人	稼働時間	852.5時間 (賃金850円/時間)
・延べ利用者数	504人		

11. 栗須の郷及びゆったり館運営事業

市民に浴場の利用やレクリエーションの場等を提供して、市民福祉の向上に努めました。

◇栗須の郷 開館日数306日 利用者数 74,613人(市内利用61,526人,82.5%)

◇ゆったり館 開館日数48日 利用者数 1,247人(65歳以上930人,74.58%)

※ゆったり館は平成29年6月末日をもって閉館いたしました。その為、平成29年度は4~6月の3カ月間のみ営業。

12. ミニデイサービス事業

概ね75歳以上の高齢者を対象に市内68会場でミニデイサービスを開催し、地域に暮らす高齢者の介護予防に努めました。

・年間利用者延べ数 6,136人 述べ年間開催数797会場 会場数68ヶ所

13. 学童保育所運営事業

仕事などの事情で昼間保護者がいない家庭の児童を預かる学童保育所の運営を市から受託して行いました。

◇みどりの学童クラブ 開館日数 293日 学童保育登録者数 44人
(中途退所者3名含む)

14. 歳末助け合い運動 「みんなで支え合う温かい地域づくり」を目指して、毎戸100円以上の助け合い募金をお願いしました。

地区名	平成28年度(円)	平成29年度(円)	前年対比(円)
藤岡	450,550	442,811	△7,739
神流	259,300	256,500	△2,800
小野	369,500	371,500	2,000
美土里	232,000	232,000	0
美九里	162,000	162,300	300
平井	124,600	123,400	△1,200
日野	58,000	55,500	△2,500
鬼石	214,700	201,330	△13,370
合計	1,870,650	1,845,341	△25,309

15. 各種援助活動 生活困窮者等の弱者を対象に相談支援や資金貸付を行い安定した生活が送れるよう制度の推進に努めました。

(1)

	貸付件数
総合支援資金(離職者支援資金含む)	1
福祉費	0
緊急小口資金	19
教育支援資金	1
不動産担保型生活資金	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0
臨時特例つなぎ資金	0
合計	21

・藤岡市社協の独自制度

	貸付件数
社協貸付制度による小口生活資金貸付	1
社協緊急時食料支援	2

(2) 災害見舞い(火災) 8件 80,000円

(見舞金規程 全焼10,000円 半焼5,000円 死亡10,000円)

(3) 行路者救済 0件 0円 (1件300円)

16. 老人福祉車の一部購入補助事業

高齢者の日常生活を支援するため、老人福祉車の購入に助成して老人福祉向上に努めました。

補助台数 25台 金額125,000円

17. 収益事業

(1) 福祉バザーの開催

6月25日(日)市民ホールを会場に区長会、民生・児童委員協議会、連合婦人会、ボランティア連絡協議会と福祉バザーを行いました。

・バザーの提供物品数 4,592点 売上金額 793,850円

(2) 自動販売機清涼飲料売り上げ代 収益金 169,450円

18. 福祉教育推進事業

(1) 児童・生徒が体験学習の機会を通じて社会福祉への理解と関心を高め、日常生活場面の相互扶助、社会連帯が大切なことを認識させるため小・中学校を対象に福祉教育の推進を図りました。

・体験用具の貸出や実習実施の補助として福祉教育の推進に努めました。

(2) 実習生の受け入れ 本市出身者を中心に受入に努めました。

19. 安心カード交付事業

平成24年度より、ひとり暮らし老人等を中心に民生児童委員協議会と共催で、緊急連絡先、かかりつけ医、服薬情報等を記載したカードを冷蔵庫に保管しておくことにより、万が一の緊急時に対応が出来る安心・便利な「安心カード」の配布を行っています。

			(前年比)
累計配布数	65歳以上のひとり暮らし世帯	1,374世帯	△61
	障がい者(児)のいる世帯	96世帯	△9
	その他の世帯	183世帯	2
	合計	1,653世帯	△68

20. 見守り支援推進事業

地域での様々な課題について地域全体で取り組む体制の構築が必要とされる中、ひきこもりに焦点を絞り、事業に取り組みました。

その事業の一環として、「ひきこもりがちな人達の居場所の必要性～不登校、ひきこもりから次の段階へ～」をテーマに講演会を実施しました。

講演会参加者 56名

ひきこもりの家族のリフレッシュを目的として「ほっとサロン」を定期的で開催しました。

延べ開催回数 12回

延べ参加者数 17名

21. 障害福祉サービス事業所さくらの家の事業経営

平成27年4月より障害福祉サービス事業所の指定を受け事業経営をおこないました。

開所日数		247日
年間利用者数	生活介護事業	延べ2,461人
	就労継続支援B型事業	延べ2,075人
登録人数	生活介護事業	11人
	就労継続支援B型事業	13人
平均工賃	就労継続支援B型事業	月額8,269円
	生活介護事業	月額4,034円

22. 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月より藤岡市からの受託事業として開始し、就労の支援その他の自立に関する問題につき、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行いました。

新規相談件数	102件
相談支援事業申込件数	18件
プラン作成件数	35件
支援調整会議開催日数	6回

23. 福祉車両貸出事業

平成27年4月より藤岡市からの受託事業として開始し、介護を必要とする高齢者、障害者等に車いすごと移動可能な自動車を貸し出し、社会参加と生活圏の拡大を図ることを目的とし事業を行いました。

福祉車両貸出件数	65件
貸出日数	152日

24. 生活支援体制整備事業

平成29年度から、藤岡市より生活支援体制整備事業について委託を受け、地域における支え合いの体制づくりの推進を目的として、各地区協議体や第1層会議の開催、市民への啓発を目的としたフォーラムの開催等を行いました。

- 各地区協議体：47回（市内8地区）
- 第1層分科会：26回（第1～4分科会）
- 第1層全体会：3回
- 藤岡市地域支え合いフォーラム2018 参加者420名